5-1-1　第一次世界大戦

第一次世界大戦（青島市街詳図）

＊雨村家文書5「交戦地域明細地図　実業之日本附録」

解　説

1914（大正3）年6月，サラエボ事件をきっかけに第一次世界大戦が始まりました。この戦争は帝国主義諸国と植民地を巻き込んだ，歴史上はじめての世界大戦となりました。この戦いを大陸進出への好機とみた日本は，日英同盟によりイギリス，フランス，ロシアを中心とする連合国側として参戦しました。

日本は，ドイツの勢力範囲であった中国の膠州湾，山東半島を攻撃し，青島を占領しました。また，赤道以北のドイツ領南洋諸島も攻撃し，地中海やインド洋へも艦隊を派遣しました。

写真は，1914（大正3）年9月20日発行の『実業之日本』附録「交戦地域明細地図」中の「青島市街詳図」です。「ビスマルク山砲台」「モルトゲ山砲台」「イルチス山砲台」などの軍事施設や，ドイツ軍の兵営，青島市街地の様子や山東鉄道などが記されています。

大戦後のベルサイユ条約では，日本はドイツが持っていた山東省の権益を引き継ぎ，赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権も得ました。

＊第一次世界大戦に関する資料として「世界大戦ポスター絵はがき」があります。（梶山家文書1805（9の1）～（9の9））

目次に戻る